※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 3021 |
|---|---|

# 令和８年度　芸術科［美術］

| 教科 | 芸術 | 科目 | 美術Ⅰ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高校美術　（日本文教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

基本はものをよく見ることです。一面的でなく，様々な方向や角度から見ることです。離れて全体を見たり，部分を拡大してみたり，構造を見たりすることです。人は見ているようで見ていないことが多く，絵を描いたり，物を作ると概念的な表現につながります。日頃から身の周りにある様々なものに眼を向けてよく見ましょう。美しさやその理に心を集中させてもう一度観察してみてください。

## 2　学習の到達目標

美術の幅広い創作活動を通して，造形的な見方・考え方を働かせ，美的体験を重ね，生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに，意図に応じて表現方法を創意工夫し，創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ，表現の意図と創意工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり，価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，美術文化に親しみ，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深め，意図に応じて表現方法を創意工夫し，創造的に表すことができている。 | 造形的なよさや美しさ，表現の意図と創意工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり，価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができている。 | 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好し，感性を高め，美術文化に親しみ，心豊かな生活や社会を創造していく態度を身に付けている。 |

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 表現 | 「絵画・彫刻」<br>デッサン<br>（グレースケール）<br>（立方体デッサン）<br>水彩画<br>（校内スケッチ）<br>「デザイン」<br>色彩演習 | a:対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深め，意図に応じて表現方法を創意工夫し，創造的に表している。<br>b:造形的なよさや美しさ，表現の意図と創意工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生成し創造的に発想している。<br>c:主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育んでいる。 | 制作過程<br>ﾜｰｸｼｰﾄ<br>作品 | 制作過程<br>ﾜｰｸｼｰﾄ<br>ｱｲﾃﾞｱ<br>ｽｹｯﾁ | ﾜｰｸｼｰﾄ<br>制作過程<br>鑑賞活動 |
| | 鑑賞 | 「オリエンテーション」<br>美術とは何か<br>「制作作品の相互鑑賞」 | | | | |
| 2学期 | 表現 | 「絵画・彫刻」<br>紙粘土を用いた制作<br>（立体似顔絵）<br>木版画<br>「デザイン」<br>切り絵<br>（動植物のﾓﾁｰﾌを組み合わせて制作） | a:対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深め，意図に応じて表現方法を創意工夫し，創造的に表している。<br>b:造形的なよさや美しさ，表現の意図と創意工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生成し創造的に発想している。<br>c:主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育んでいる。 | 制作過程<br>ﾜｰｸｼｰﾄ<br>作品 | 制作過程<br>ﾜｰｸｼｰﾄ<br>ｱｲﾃﾞｱ<br>ｽｹｯﾁ | ﾜｰｸｼｰﾄ<br>制作過程<br>鑑賞活動 |
| | 鑑賞 | 「制作作品の相互鑑賞」 | | | | |
| 3学期 | 表現 | 「映像メディア表現」<br>シンボルマーク<br>ロゴマーク<br>「デザイン」<br>パッケージデザイン | a:対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深め，意図に応じて表現方法を創意工夫し，創造的に表している。<br>b:造形的なよさや美しさ，表現の意図と創意工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生成し創造的に発想している。<br>c:主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育んでいる。 | 制作過程<br>ﾜｰｸｼｰﾄ<br>作品 | 制作過程<br>ﾜｰｸｼｰﾄ<br>ｱｲﾃﾞｱ<br>ｽｹｯﾁ | ﾜｰｸｼｰﾄ<br>制作過程<br>鑑賞活動 |
| | 鑑賞 | 「制作作品の相互鑑賞」 | | | | |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度